

検討内容（事務局）

個々の施設の状況について評価・分析を行い、総合的かつ中長期的な視点で効果的・効率的な公共施設の適正配置方針を策定

公共建築物総延床面積
184,415 m²

削減目標 17.7%

一次評価

施設の現在の状況を数値的に評価、分類する。

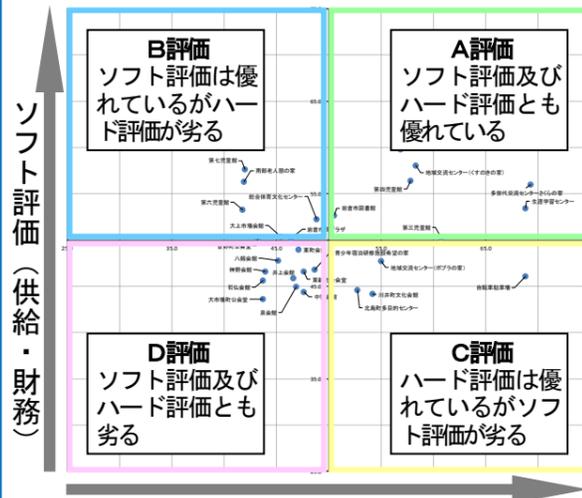
ハード評価

建築物の老朽化度
公共施設劣化状況調査

ソフト評価

利用状況
維持管理コスト等

<ポートフォリオによる一次評価結果>



ハード評価（品質）

評価	編成の方向性
A	継続使用
B	ハード面の改善
C	ソフト面の見直し
D	廃止

施設全体または施設類型内における個々の施設の位置づけを把握し、施設ごとの方針を決定するための方向性を導き出す。

二次評価

一次評価の方向性を基に、施設の必要性を評価し、個別の方針を決定する。

一次評価の方向性

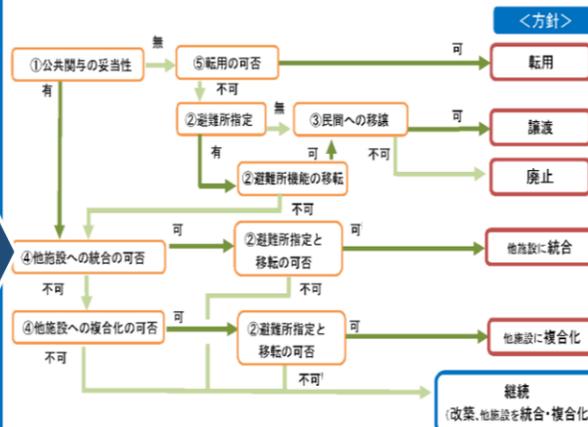
他の計画との整合性

清須市の将来展望

地域性、公共性
必要性

所管課の方針、考え

<二次評価の検討フロー>

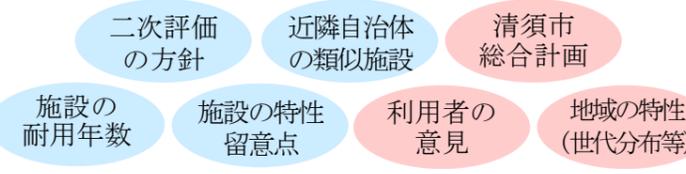


方針	内容
継続	施設を継続する
複合化	機能が異なる施設を1箇所に集約する
統合	機能が同じ施設を1箇所にまとめる
規模縮小	運営規模を縮小して施設を継続する
譲渡・廃止	民間等への譲渡、または施設の廃止

施設毎に考慮すべき項目について評価を行い、市民ニーズにも配慮した、今後の管理運営方針を決定する。

適正配置方針の策定

二次評価の結果を清須市の将来像に照らし、削減目標を達成する公共施設の適正配置を検討する。



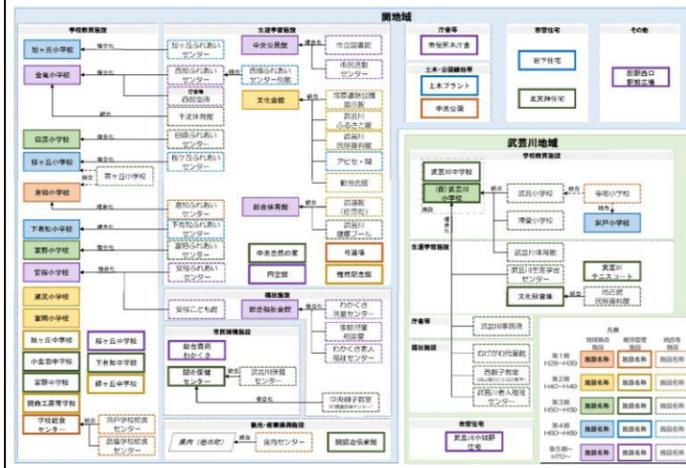
適正配置方針案

アウトプットのイメージ

再配置方針と実施時期までの運営方針を併記した例

施設名	建築年	経過年数	延床面積 (m ²)	既存建物（施設）の方向性		実施時期				
				当面（更新時まで）	更新時	1	2	3	4	
健康福祉センター（おぼと）	平成13	15	4,038	現状どおり活用（複合化を検討）	継続します					○
湖西市ふれあい交流館	平成18	10	683	現状どおり活用（複合化を検討）	継続します					○
湖西市はつらつセンター	平成14	14	406	現状どおり活用	継続します					○
世代間交流室	平成11	17	114	現状どおり活用（譲渡を検討）	更新しません					□
むつみ荘	平成11	17	90	現状どおり活用（譲渡を検討）	更新しません					□
老人福祉センター	昭和62	29	1,326	現状どおり活用（転用・複合化等を検討）	基本的な考え方をふまえて検討					○

複合化の組合せ等、具体的な方針について整理した例



今後40年間の事業方針を検討し、概要的なロードマップを示す。検討期間中の維持管理費を検証し、財政的に持続可能な適正配置方針の策定を目指す。

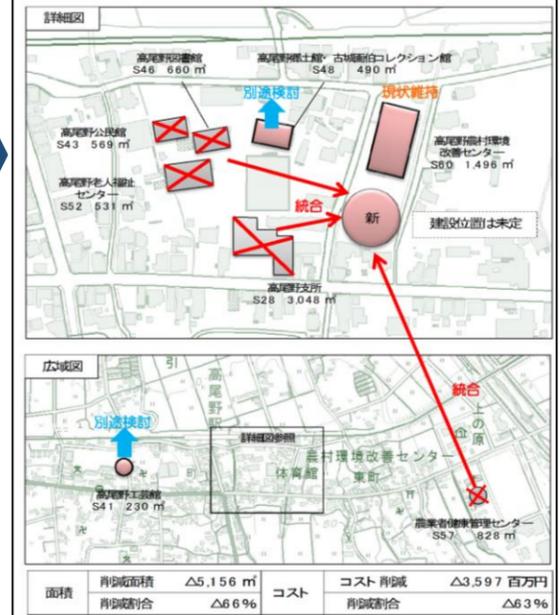
モデルケースの検討

適正配置方針案の中からモデルケースを抽出し、具体的な事業検討を行う。

- 対象施設の客観的な現状を把握
- 人口推計、都市計画区域等の状況を把握
- 対象施設の評価、施設整備の優先順位等の判断
- 施設総量・ライフサイクルコスト削減の検証
- 適正配置によるサービス向上等の効果の検証
- 事業推進にあたり考慮すべき課題の抽出

アウトプットのイメージ

モデルケースの対象施設の位置と適正配置の方向性を図示する



具体的な事業の検討方法や留意すべき課題についてモデルケースを作成し、具体的な再配置の効果を検証する。

適正配置方針・個別施設計画策定